

一般質問

(4ページ～6ページ)

2月22日・23日・24日・28日

※原稿は市長部局の答弁も含めて各議員が作成しています。

会派の略称

- (みどり・市民) みどり・市民ネット
- (日本共産党) 日本共産党小金井市議団
- (民主・社民) 民主党・社民クラブ
- (公明党) 小金井市議会公明党
- (自民党小金井) 自由民主党小金井市議団
- (自由民主) 自由民主クラブ
- (改革連合) 改革連合
- (市民会議) こがねい市民会議

校庭などに

夜間照明の設置を

露口哲治(自民党小金井)

グラウンド増設の要望は多い。小金井公園ではグラウンドが増設されたものの、市域の中心や学校単位で身近なところには少ない。グラウンドに夜間照明を設置してほしい。



というのは、小中学校の皆さんから、社会人、高齢者に至るまで、生涯にわたって、いつでも、どこでも、だれでも学べる教育・スポーツ環境の整備であり、健康で明るい小金井づくりの一助となるス

ポーツ施設の充という提案です。武蔵野市、国分寺市はじめ近隣の5市の状況を調査したところ、各市2～5か所の小中学校で設置されています。研究してほしい。

市長 環境問題、近隣住民との関係、財政的な問題を研究していく必要がある。本市は市街化されてきたまちで、市域が狭いので、新たなグラウンドづくりは難しい。始めから否定するわけではない。

小金井市の子ども

発達支援施策の総合評価

鈴木成夫(民主・社民)

①けやき保育園・ピノキオ幼稚園新園舎検討スケジュールは。子ども家庭部長 平成25年3月までに移転する計画。設計は23年9月中にはまとめていかなければ



いけない。実施設計業者選定は原則的な競争入札。限られた時間で保護者の意見を踏まえ進めたい。保育課長 検討委の議論は間に合うかが一番大きな問題。主管課としては、討論内容踏まえ実施設

計に持っていったらと思う。運営面も合間を縫って検討重ねるが、保護者負担の配慮が課題と思う。②子どもの発達支援施設の業務検討の取組について。保育課長 新園舎延床面積は2千596㎡。実施設計検討と同じメンバーで運営も検討していきたい。その他に、「特別支援学級スクールバスの安全管理の現状について」を質問しました。

道路行政の

充実を求める

武井正明(民主・社民)

①道路行政について(ア)市単独の整備費はどうなっているか。(イ)道路改修補修の計画基準はどうなっているのか。(ウ)市道456号線太陽寺前の通り等私の調査で生活道路で



補修が必要な箇所が散見している。(エ)道路改修費の増額を求めたい。(フ)道路整備費(ア)年間7千万円程度計上している。(イ)補助事業では10年程度もたせ予算編成前に実査してそのリストに基づいて決定

している。(ウ)苦情対応は速やかにやっている。(エ)予算を最大限活用する方向で努力している。②2011年度予算編成について(ア)歳入面でのような苦勞があったのか。(イ)歳出面での対応は。(ウ)財政計画の見直しも必要ではないか。企画財政部長 (ア)臨対債が半分削減され財政調整基金の取崩しなどで対応する。(イ)民生費が大幅増となる。(ウ)早い時期に見直したい。

地域の声に一層耳を傾け

学校芝生化推進を

小林正樹(公明党)

①1990年から7倍近くになっている児童虐待を無くすために「虐待ゼロ都市宣言」を行うべき。その他、通報用短縮ダイヤル設置、市民向けの虐待防止対応マニュアル



作成、葛飾区を例に未然防止のための一時預かり事業の強化を提案。市長 宣言については検討したい。②第二小学校の校庭芝生化は東京都でも大変に高評価であると伺

っているが、今後、平成27年までに9校まで増やす計画が第4次基本構想で示されている状況で、市教育委員会は工事中のグラウンドの代替施設の確保ができないか。その他、地域スポーツ団体や保護者と、より一層の連携、意見交換を行いながら事業を推進していただきたいと強く要望した。学校教育部長 確保は難しいが、協力できるところは協力したい。

昼休み窓口の改善&

小金井市に「道の駅」を

宮下 誠(公明党)

①昼休みの時間帯でも、窓口や電話で問合せが種々あると思う。現状、この対応がしつかりできていないか大いに疑問だ。現状をよく調査し、全庁的に見直しをすべき



ではないか。総務部長 昼休みの対応は平成元年から行っているが、見直す必要もあると思う。第3次行革大綱でもソフト勤務の項目があり、市民サービス向上のため、実態の把握に努めていく。

②市内には都心並みの交通量の所がある。「道の駅」は、地域情報の発信基地として産業の活性化へ貢献できる。立川市が計画しているファーマーズセンター等も参考に、市域での開設を行わないか。市民部長 今後、研究したい。③その他、ISO26000の導入について質問した。

市長交際費の

見直し削減を

野見山修吉(みどり・市民)

①市長交際費は21年度で見ると、多摩26市の平均決算額は84万円だが、小金井市は142万8千円だ。金額の見直しを。市長 時代の変化などを考え、



見直す必要はあると思っている。②(ア)認知症サポーターを今後5年間で4千人増やす計画だが具体的にどうするのか。(イ)認知症でも大丈夫なまちづくりの全国の先進例の研究を。(ウ)傾聴ボランティア

アのスキルアップを。(エ)遠距離介護のための講演会やセミナーを。福祉保健部長 (ア)市職員や地域の方へ広げるとともに中学生などにも働きかけを考える。(イ)データベースを整理し、小金井市に合った活用を研究する。(ウ)来年度は通常の養成研修の他にスキルアップ部分を1回増やすことで社協と話す。(エ)のようなことができれば包括支援センターとも協議したい。

親心を育む

一日保育士体験のすすめ

遠藤百合子(自由民主)

①幼児は数年の間に、様々な手段で人間たちを育て、コミュニケーション能力を高め、幸せのものを教える、良い人間性、感性を引き出すといわれている。一日保



育士体験が広まれば、人間社会に自然治癒力、自浄作用が働くといわれている。新しい保育指針に親たちの保育参加が書かれている今、その意義は深い。親たちに「感謝」の気持ちが生まれ、この気持ちが

保育士を育て、やがては学校教育の場面をも支えていくようになる。一日保育士体験の実施を。子ども家庭部長 検討したい。市長 非常に面白い試みだと思う。②校庭の芝生化に伴い、利用団体、PTA、地域の方々の話し合いは進んでいるか。学校教育部長 職員は何回も学校に伺い、話合いに応じている。